

## 2022年度 WAMINA シンポジウム（第1報）

現在、「健康・医療・介護分野のデータの有機的連結やICT等の技術革新の利活用の推進をめざす」データヘルス改革のもとで、さまざまな政策が推進されています。マイナンバーカードの保険証利用はその身近な一端に過ぎません。

コロナ禍により3年ぶりの開催となるWAMINAシンポジウムでは、政策推進の中核におられるお二人に、データヘルス改革の全貌と、それによって医療の現場がどう変わろうとしているのかについて講演をお願いしました。

また、それに関連する和歌山での取り組み事例を紹介していただきます。  
皆様のご参加をお待ちします。

テーマ：データヘルス改革 ～現状と展望～

日時：2023年1月14日（土） 14:00～17:10

場所：オンライン開催（Zoom）

定員：500名

参加費：無料

主催：和歌山地域医療情報ネットワーク協議会（WAMINA）

後援：和歌山県、和歌山県医師会、和歌山県薬剤師会、和歌山県病院協会、  
和歌山県情報化推進協議会、日本医療情報学会関西支部、関西医療情報処理懇談会  
（予定）

医療情報技師ポイント：未定

参加方法等：追ってお知らせいたします。

\*\*\* プログラム \*\*\*

（敬称略）

開会挨拶	入江真行（和歌山地域医療情報ネットワーク協議会 理事長）	14：00～14：05
講演1	： 「最近の厚生労働省の取り組み」 田中 彰子（厚生労働省医政局参事官(特定医薬品開発支援・医療情報担当)）	14：05～14：55
講演2	： 「医療DXに関する日本医師会の取り組み」 長島 公之（日本医師会 常任理事）	14：55～15：45
	（休憩）	15：45～15：55
講演3	： 「青洲リンクを基盤としたPHRの構築」 西川 彰則（和歌山県立医科大学附属病院 医療情報部長）	15：55～16：25
	追加発言(予定)	16：25～16：35
	質疑・総合討論	16：35～17：05
閉会挨拶	道本浩司（和歌山地域医療情報ネットワーク協議会 副理事長）	17：05～17：10

以上